

JN-HRD. NET ニュースレター

●原子力人材育成国際会議の開催

本会議は、原子力機構原子力人材育成センターが原子力人材育成に関する世界的な情報共有を目的として毎年開催しているもので、本年はVINATOMの共催により、ベトナムハノイ市のメリアホテルにて10月29日（火）－10月31日（木）の3日間開催しました。今年のテーマは『－効率的、効果的な原子力人材育成の手法－』です。日本の参加者19名（原子力機構を始め、原産協会、原子力安全研究協会、JNES、JINED、日本原電、東京大学、日立GE、東芝、三菱重工の関係者、自費参加を含む）の他、アジア・太平洋10カ国（オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、カザフスタン、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム）及び欧州の国際機関（IAEA、ENEN）の代表12名が参加した。開催国のベトナムからは、共催のベトナム原子力研究機構（VINATOM）をはじめ、ダラット大学、ハノイ科学大学、ホーチミン科学大学等の大学関係者、ベトナム教育省、EVN、等から15名を超える参加があり、参加者合計は約50名の国際会議となりました。今回の会議は、テーマに沿って、他国への育成支援、Webやe-learningの積極的な利用、対象者別かつ段階を踏んだ育成計画、広範囲に渡る研修企画等、各国各組織が行っている具体的かつ詳細な活動内容を紹介した発表が多く、今後各国において具体的な利用が期待されます。最後に村上センター長より本会議では原子力人材育成の重要性が皆で再認識でき、主目的である原子力人材育成に関する世界的な情報共有を達成し、各国関係者同志の結びつきも強まって大きな成果が得られたとの総括がありました。来年度はインドネシアで開催する予定です。

●委員会開催

*マネージメントスクール実行委員会（11月14日）東大上坂先生主査

日本で3度目となる来年6月開催予定のマネージメントスクールの準備に着手開始し、開催期間、カリキュラム、宿泊先、施設見学先等についての検討が始まりました。なお前回（今年度実施）まではIAEA主催でしたが、IAEA側から日本事務局への高い評価もあり、今回（来年度実施）から日本側（東大、JAEA、JAIF、JICC）が主催となります。（IAEA支援）

*企画委員会（11月19日）九大工藤先生主査

今年度第二回企画委員会を開催し、5分科会と2ワーキンググループの今年度の活動報告を行いました。この中で原子力人材育成戦略諮問委員会について、事務局（原産協会担当）より今年度内の活動案および中核的恒常機関に関する中期的展望などに関する説明がありました。本件に関し、今後諮問委員会メンバーを強化し、事務局の事業との関係の明確化を図りながら原子力人材育成ロードマップの検討を進めていくこととなりました。

*今年度の原子力人材育成ネットワーク事業報告会は2014年2月4日(火)飯野ビル内会議室にて開催される予定です。

●原子力国際人材養成コースの開催(12月8日～13日)

将来国内の原子力関係各組織のリーダーとなることが期待される国内の若手の国際化を促進するため、昨年に続き原子力国際人材養成コースを開催しました。本企画は研修生が自分の言葉(英語)で意見を述べる素地を身に着け、グローバルなコミュニケーション能力をUPさせることを具体的な目標としております。今回は特にBritish Hillsという福島県天栄村の山中にある英語専門の研修施設(施設スタッフも英語で対応)に5泊し、24時間英語漬けの環境で研修を実施しました。

今年は電力やメーカ、研究機関等から16人の参加者があり、研修内容は講義、グループワーク、英語レッスンの他に国際機関への雇用模擬面接という他では経験できないユニークな内容も盛り込まれ、内容の濃い実践的なものとなりました。6日間という短い期間ながら参加者同士の仲間意識も生まれ、研修生は皆何かを掴み、世界原子力大学やIAEA原子力エネルギーマネジメントスクールといった新たな目標を持って各職場に戻って行きました。本企画は来年以降も継続して開催する予定です。

●第二回原子力施設見学会を企画

第一回原子力施設見学会(原子力機構核融合施設、日立GE工場)を今年9月6日に開催しましたが、参加者からは原子力に興味をわいた、別の原子力施設も見学したい、との声が聞かれ、好評であったことから見学先を変えた第二回原子力施設見学会を企画しました。今回も第一回と同様に原子力専攻以外の学生を主対象とし、原子力技術に興味を持ってもらうことを目的としております。先生方には今回も学生へのPRをよろしく願いいたします。見学会の概要は以下の通りです。

*新宿発着の日帰りバスツアー(朝八時出発、夜八時帰着)

*対象 大学生(修士、博士を含む)、高専生

特に機械・電気・物理・化学等を専攻の学生さんを歓迎します。

*実施日 2月21日(金)

*見学先(予定) 原子力機構大洗研究開発センター HTTR、常陽

原子力機構原子力科学研究所 J-PARC、JRR-3

*定員 20名

詳細問い合わせ先は下記

日本原子力研究開発機構

原子力人材育成ネットワーク事務局 片山

Tel : 03-3592-2369 FAX : 03-3592-2185

E-mail : katayama.masahiro@jaea.go.jp